

Microsoft Producer で Web プレゼンテーションを作成する

必要な素材

- 1 パワーポイントデータ
- 2 発表内容のビデオデータ

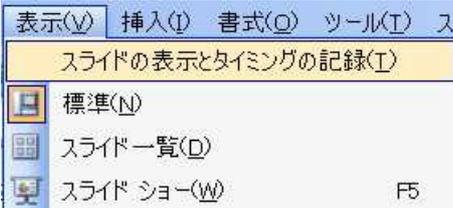
作成方法

- 1 ビデオを撮る



ここでは、プレゼンテーションを行いながら、説明をし、その様子をビデオで撮影する。

発表者の話す内容とスライドショーの進め方を記録することが必要である。

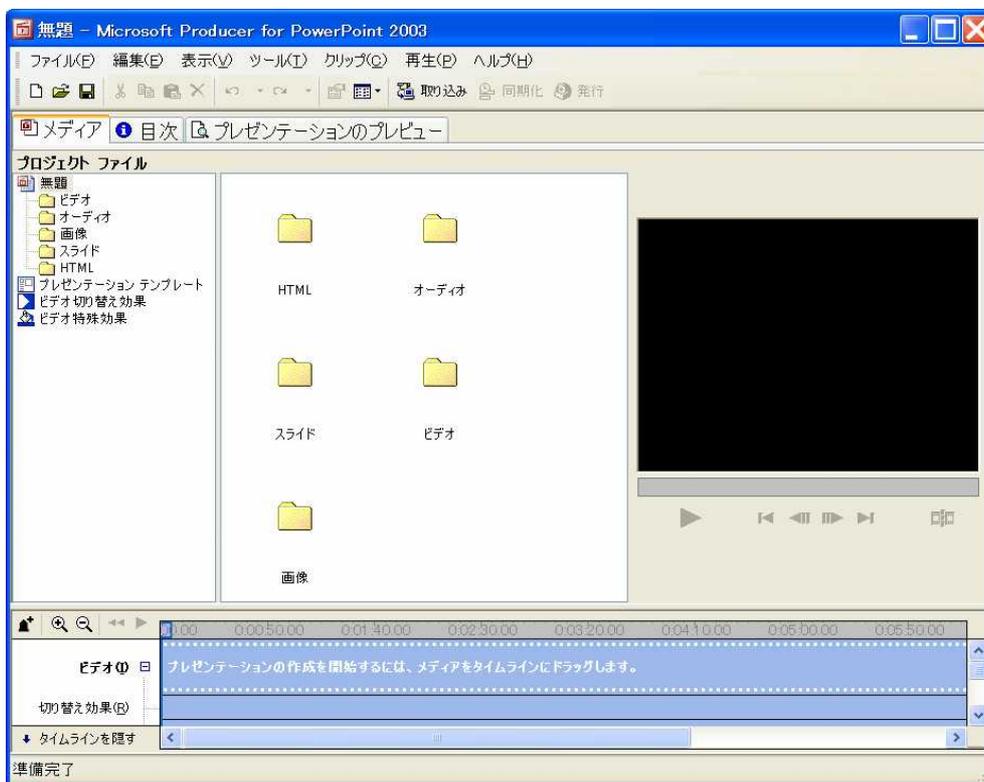


パワーポイントを開いた状態で、「表示(V)」「スライドの表示とタイミングの記録(T)」をクリックして、スライドショーを開始する。

スライドの表示とそのタイミングが記録でき、その保存されたファイルをスライドショー開始にすると、記録のタイミングでスライドが表示される。

スライド表示とタイミングの記録を行いながら、プレゼンテーションを行ってもらいその様子をビデオで撮る。

2 Microsoft Producer での編集



「プロジェクトファイル」の

「ビデオ」に録画した日データ(mpeg1形式がよいと思われる)を読み込み、

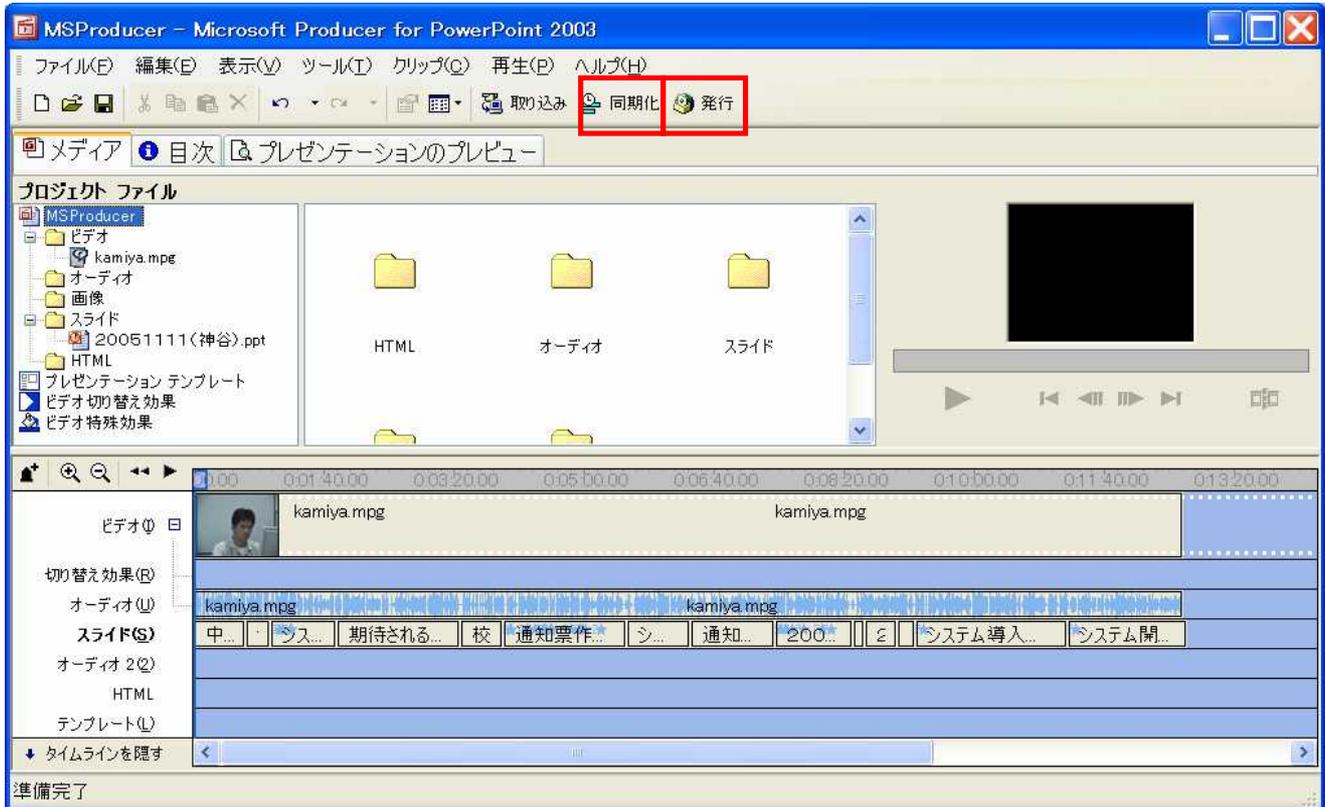
「スライド」にスライドの表示とタイミングを記録したパワーポイントデータを読み込む

Producer の初期起動画面



左の図は、「ビデオ」と「スライド」にそれぞれのデータを読み込んだ状態

読み込んだデータをタイムラインへ配置する。



上記のように、ビデオの録画及びスライドの記録を取ることによって、ビデオの長さやスライドの長さは、ほとんど同じだが、もし若干の誤差がある場合は、「同期化」を行って、スライドのタイミングとビデオとの同期をとる必要がある。

「発行」をクリックし、html ファイルを作成する。その際には、複数のファイルが自動的に作成されるので、予め空のフォルダを準備しその中に保存する方が望ましい。

「発行」 マイコンピュータを選択し「次へ」 ファイル名、保存場所を設定し「次へ」
「タイトル」(必須)、「発表者」(オプション)、「導入ページの画像」(オプション) 説明(オプション)を設定し、「次へ」 「提案された設定を使う」(推奨)にチェックを入れ「次へ」
「次へ」をクリックするとデータの作成を開始する。その後「完了」ボタンで終了。

< 閲覧方法 >



これが、作成されたファイル。
Html ファイルを立ち上げると閲覧ができる。